

第 41 回ニセコ町環境審議会議事録

1. 開催日時 令和6年7月26日（金） 15：00～16：30
2. 開催方法 現地、および Zoom の併用による開催
3. 出席者 委員：東郷典彰氏（オンライン）、牧野雅之氏、大久保純子氏、
工藤三智子氏、徳留真子氏、澤田佳代子氏
事務局：山本副町長、桜井課長、長谷部係長、永澤

4. 議事内容

（1）報告事項

①令和5年度の環境に関する主要な取組概要について【資料1】

事務局より、資料1に沿って説明があった。

（委員）計画系と環境教育系が同一の項目として記載されているが、分類ごとに項目を立てて見せる方が良いのではないか。

（事務局）ご指摘の通り。

②地域の防災減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備導入推進事業の令和5年度調査報告【資料2】

事務局より、資料2に沿って説明があった。

（委員）役場庁舎について、環境省への3年分の報告が終了したところだと思うが、役場として予定通りの実績だったのか。

（事務局）電気の使用量としては全体的に減少傾向になったが、CO2 排出量の見え方は排出係数の影響を受けるため、削減率としてみた場合、目標値ギリギリになる年もあった。旧庁舎では灯油ボイラーを使用していたが、新庁舎では冬場もエアコンで暖房を賄う等しており、想定通り CO2 の削減はできている。

（委員）排出係数に関しては、一般感覚ではわかりにくい方もいるかと思うので、ケースを合わせて表示するだとかの工夫をすると、ほかの委員さんも理解しやすいのではないか。今回は環境省への報告説明なので必要ないが。

（2）令和6年度の主な取組

③ニセコ町地下水保全条例の一部改正について【資料3】

事務局より、資料3に沿って説明があった。

（委員）町水道が伸びるという計画はあるのか。井戸を掘る場合に補助金はあるのか。

（事務局）水道管を広げる計画は現時点ではない。町水道が通っていない地域は地下水

の掘削をすることになる。補助金などは特にない。

**④気候変動対策推進条例（案）の制定【資料4】、ニセコ町脱炭素・再エネ推進事業補助金
交付要綱【資料5】、補助金パンフレット【資料6】**

事務局より、資料4～6に沿って説明があり、その後、意見交換等を行った。説明・意見・審議内容については以下のとおり。

（委員）町内で建築する事業者の多くは、後志管内や札幌の事業者やメーカーも多いと思うが、どのように周知するのか。

（事務局）道や建設業協会に周知することで、協会に登録している事業者への情報共有をしてもらう予定。ニセコ町に建設しようとする多くの人目につくようにしていきたい。

（委員）第9条、第19条の内容について、なかなか先進的な取り組みで、すごくいいと思う。これについて道内の市町村でできているところはまだ少数で、きちんとした適用だけの方針や計画を策定しているのは10に満たない。そういう意味では、先進的にニセコ町が取り組むことは非常良いことである。基幹産業の農業や観光への影響が出るかと思う。それについての適応策を盛り込んでも良いと思うが、その辺の議論は今後していきたい。

もう1つ交付金の補助金の話で、これも Nearly ZEH のニセコスタンダードや太陽光発電について、新たに補助金を入れて加速するという事で、非常にいい取り組みだと思っている。ニセコ町は豪雪地帯なので、発電効率が悪いと思うが、補助額を見ると高い感じもするので、それをいかにPRしていくかが重要になる。役場の広報、そのほかの手段を導入して、実際に補助金を利用した人の口コミをSNS等で発信していくことも効果的だと思う。初年度からそういった取り組みをされるのがいいかと思う。一方で、太陽光発電については、ネガティブな話として、消費者トラブルも起こりがちで、苦情も出ている。それは施工業者の問題だが、そういうことも含めて、役場の方で監視が必要になる部分もあるかと思うし、丁寧な広報が必要だと考える。

（事務局）太陽光設置の補助額については、本州で採用されているものより金額の高い積雪対応型パネルの導入を想定している。冬は無落雪の想定で設置したいため、架台の構造が強度あるものを採用してほしい。

（委員）大規模なものじゃなくていいから、具体的な発電量を数字で確認したり、どこかのメーカーのパネルか、蓄電池のサイズ感等見れるといい。7月に近隣町村で仮設の道路工事現場にあるハウス屋根のパネルを見せてもらった。2mほどの家庭用の一番小さいタイプのパネルがパワーコントローラーとセットになっていて、フル稼働させた状態で約50%程度の電気が発電されていた。そういったものを実際に見れると、悩んでいる人は検討しやすいのではないかと感

じた。導入時の金額だけでなく、処分費用まで含んだ、全体として必要な費用シミュレーションがあってもいい。

(事 務 局) 7月に町内事業者向けに説明会を開催したが、町民向けには8月に説明会を(株)ニセコまち主催で開催してもらう。町の補助金を利用した場合の導入金額、原価償却は住宅によって異なるので、この機会にシミュレーションのようなご相談をいただけると、何となくコスト感はわかるのではないかと思う。

(委 員) 全国的に太陽光パネルの事故も起きているが、積雪対応のパネルの生産国はどこになるのか。壊れた際の補償は問題ないのか。

(事 務 局) ニセコまちで積雪対応として実証したパネルは、元はドイツで開発され、現在は韓国で生産されているもの。太陽光パネルに関しては、国産が特に優れているというわけではなく、韓国や中国のメーカーのほうが重要が多い分実績もあり、一般家庭向けの良い品も生産され日本でも多く採用されている。

(委 員) ニセコの問題として、土地の面積もある。実際に太陽光を建てる所がない。全国的に垂直型も普及しているが、これはどうか。

(事 務 局) 垂直にした場合の発電量や冬場の検証については、公共施設でも1カ所実証したいと考えているところ。

6. 閉会

以上